

# 授業に活かせる 地域のまちづくり ヒント集

この  
きれいな花は  
誰がお手入れ  
してるん  
だろう？



# 地域のまちづくりを 授業に活かしてみませんか？

「まちは友だち！」は、子どもたちにまちづくりを学んでもらうために川崎市がつくった冊子です。小学校の先生と編集会議を進める中で、先生たちはまちづくりに関する取組みがいろいろな地域で行われているのはわかっているけど、どうやって授業に反映すればいいのか困っているのではないかと悩んでいる。また、まちづくりの事例を深く知ると、まちづくりは総合的な学習の時間や社会科という枠を越えて、いろいろな授業や活動に使えるのではないかとということになりました。そこで、多摩区の実例を基に、まちづくり活動の授業や活動への活かし方のヒントをご紹介します。

## 五反田自治会（多摩区）について

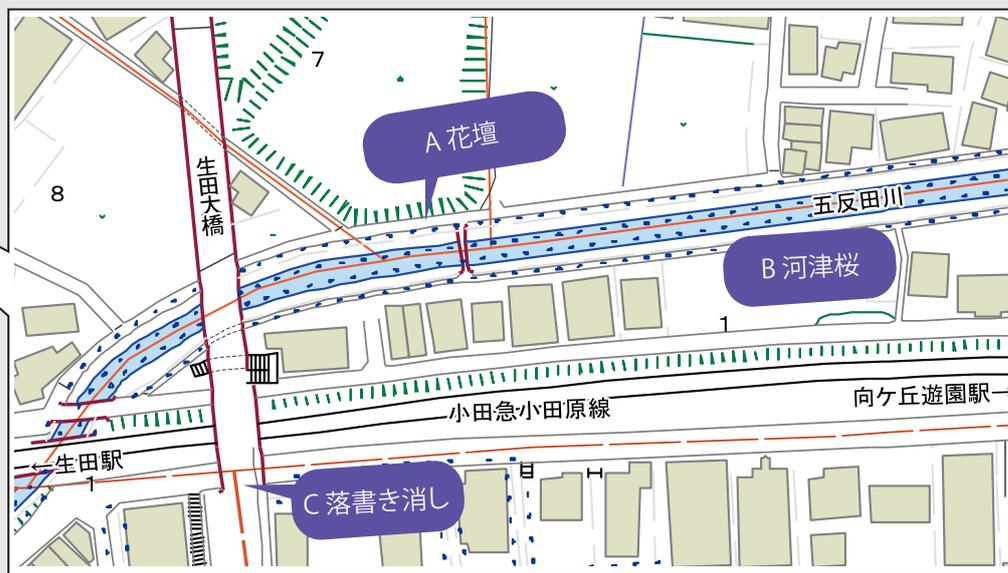


五反田自治会  
吉田会長

五反田自治会は、小田急生田駅周辺を中心に世田谷町田線の両側に沿って広がる1,500世帯の自治会です。地区としては東生田小学校、生田小学校、三田小学校の3つの小学校と2つの中学校の学区にまたがり、周辺には生田出張所や三田こども文化センターなどの行政施設があります。

この自治会のまちづくり活動の取組みは、大きく2つあります。

- ① エリア内を流れる五反田川沿いの管理道。街灯を覆うほど木が伸び荒れていました。五反田自治会は木を切って花壇(A)をつくることで、子どもにとって安全で、きれいな環境をつくりました。花壇には、自治会掲示板を設置することで、地域の顔が見えるようになり、声をかけあうコミュニティの輪が広がりました。そして、川にこいのぼりを飾ったり、夏には七夕まつりも開催するようになりました。さらに、より美しい景観づくりのために川沿いに河津桜を植えました(B)。
- ② 明治大学の学生が登下校に通る生田大橋のトンネル。落書きが多発していましたが、明治大学のサークル「生田環境デザイン部」の呼びかけで、五反田自治会、三田こども文化センター、多摩区役所道路公園センターが連携し、落書きを消して子どもの絵を飾る活動もはじまりました(C)。



# 1 社会科 / 総合的な学習の時間の授業のヒント

この2枚の写真は、何が違うのでしょうか？



# 1 社会科 / 総合的な学習の時間の授業のヒント

## 子どもたちに危険な環境だった荒れ果てた木を切って、 まちの人は花壇づくりをはじめました。

- ・五反田川沿いの管理道は、かつて木が伸び荒れ果てて、街灯も覆われ子どもが歩くのには暗くて危険な環境でした。
- ・このままでは見た目が悪いどころか事件が起こる可能性があるとして、五反田自治会はこれらの木を切って、花壇をつくり、季節の花を植えることで、子どもにとって安全で、きれいな環境をつくりました。



- ・花壇には、自治会の掲示板を設置し、自治会の活動や、地元の歴史を紹介することで、地域の顔が見えるようになり、声をかけあうコミュニティの輪が広がりました。



- ・近くの森でとれた竹を使ってみんなで作ったベンチも、交流のきっかけになっています。



- ・そして、川にこいのぼりを飾ったり、夏には七夕まつりも開催するようになりました。子どもや地域の人たちがたくさん参加し、五反田川を軸に地域がだんだん活気づいていると、会長の吉田さんはおしゃっています。



地域の人の「今度は、五反田川を桜の名所にしよう」という発案により、河津桜を植える活動も行いました。このように地域の人たちが一緒になってまちの活動をどんどん広げています。



五反田自治会  
吉田会長

## 2 道徳の授業のヒント（郷土を愛する心）

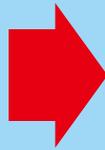
### 落書きされてしまう生田大橋の話。



落書きされていたトンネルの壁



みんなで落書き消し



子どもたちの絵を飾ったら落書きされなくなった

**自治会長：**生田大橋のトンネルにはいつも落書きがあって、自治会としては頭を悩ませていました。消しても消してもまた落書きされてしまう。

**大学生：**明治大学のサークル「生田環境デザイン部」は、地域の魅力を向上するための活動をしています。このトンネルは、私たちにとって大学に通う道でもあるので、子どもの描いた絵を飾ったら落書きされないのではないかと思います、子どもが集まる三田こども文化センターに相談に行っただけです。

**館長：**このトンネルは、落書きがあることでこわい雰囲気になっていました。三田こども文化センターは子どもが利用する施設ですし、県のくらし安全指導員さんからも、「落書きがそのままになっている場所は、犯罪が起こりやすい」ということを聞いていたので、とても心配をしていました。そこで明治大学の学生さんが提案してくれた時は、とてもいいアイデアだと思いました。しかし、このトンネルは公共の場ですので、勝手に絵を飾るというわけにはいきません。地元の五反田自治会にご相談し、多摩区役所の道路公園センターにも協力をしてもらうことにしました。

**自治会長：**提案を受けてとても良い活動なので協力しようと思いました。私たちの自治会は明治大学に近いので、大学といっしょに地域のことを考えられるようになったことも、とてもよいことだと思っています。

**館長：**三田こども文化センターはいろいろな人がかかわる際のパイプ役になりました。明大生、自治会や道路公園センターだけではなく、自主的に保護者のみなさんが協力してくださったり、地元の商店街のみなさんが水を貸してくださったり、ひとつの目標に向かってみんなで落書きを消して、絵を飾りました。絵のテーマは「わたしたちが見た・思う生田のまち」です。

**自治会長：**こういうことをきっかけに子どもたちには、「学校と学校の外は別じゃない」「神社や五反田川はみんなのお庭」「地域もみんなの活動場所なんだ」という大きな視野で地域を見るようになってほしい。そして地元をもっと好きになってもらって、将来の生田を担ってほしいですね。

### この話をきいて、どう思ったか話し合おう

※ **自治会長：**五反田自治会 吉田会長 **大学生：**明治大学大学生 **館長：**三田こども文化センター館長



# 「まちが友だち!」をご活用ください



- ・川崎のまちづくりの未来を担う子どもたちが、まちと関わるきっかけとして、まちづくりを遊び感覚で楽しく学べるようなまちづくり副読本「まちが友だち!」(通称:まち友)を小学校の先生とまちづくり局の職員が共同で作成しました。川崎市内のまちづくりを小学生に学んでもらうことを目的に教材としてつくられ、市内の小学校に配布しています。
- ・まち探検や遊び場今昔マップづくり、まちづくりゲームなど遊び感覚でまちづくりを学習しながら、自ら学び考える力・地域やまちづくりへの関心を育てます。
- ・巻末に掲載されている、区ごとのまちづくりの情報は、高学年の学習事例にも最適です。実はこの情報は毎年更新されていて、ホームページに過去紹介分の情報が載っているので、学校のある区のまちづくり情報を集めてみましょう。

<http://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000018475.html>



各区の  
まちづくりは  
授業づくりの  
ヒントが  
たくさん!





別冊／小学校の先生向け

発行 平成 24 年度

川崎市景観・まちづくり支援課

まちづくり副読本編集委員会